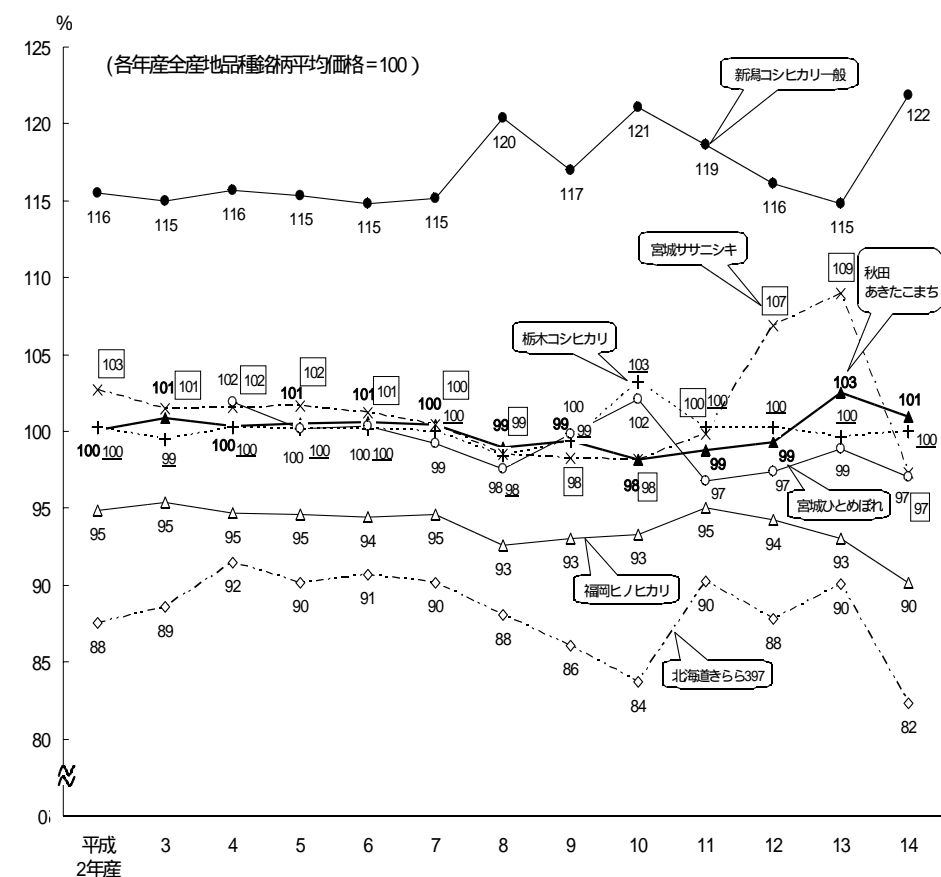


このような取引の多様化の結果として、これまで、ほとんどの産地銘柄の価格は全銘柄平均価格の動きにほぼ平行して推移してきましたが、最近では、各産地品種銘柄の価格変動が次第に拡散する傾向にあります（図 - 3 - 6 ）。

図 - 3 - 6 主要な産地品種銘柄の年産別相対的地位の推移



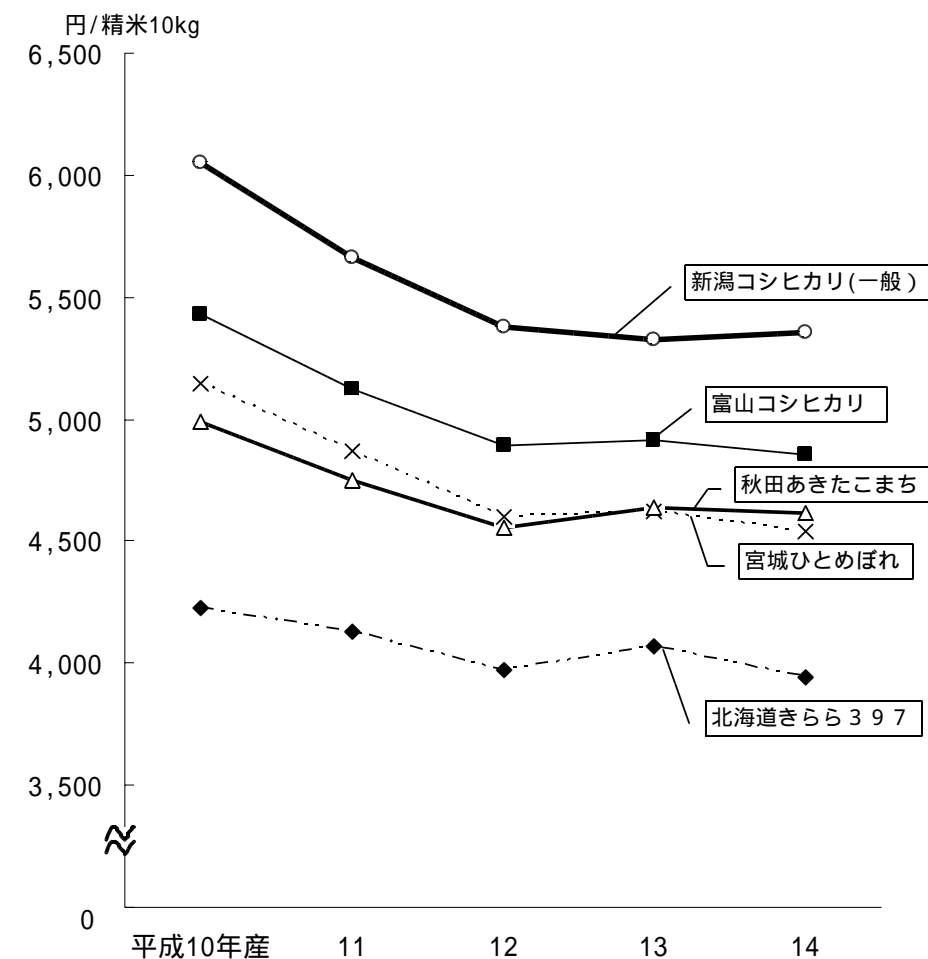
資料：(財)自主流通米価格形成センター調べ

注：各年産の全産地品種銘柄平均価格を100としたときの、各産地品種銘柄の価格比を示した。

自主流通米価格形成センターにおける入札価格が、近年、下落傾向で推移していることを反映して、多くの産地品種銘柄で、小売価格についても、下落傾向で推移しています。

なお、平成14年産については、多くの産地品種銘柄の小売価格が前年に比べて下落する中で、「新潟コシヒカリ」は、入札価格が前年産よりも著しく上昇したことを受けて、若干ですが上昇に転じています（図 - 3 - 7）。

図 - 3 - 7 米の年産別小売価格の推移



資料：食糧庁「米麦等の取引動向調査」

注：1) 主要5銘柄の精米10kg当たりの全国平均価格(包装代・消費税込)である。

2) 平成13年産までは当年10月～翌年9月の単純平均であり、14年産については14年10月～15年5月の単純平均である。

(ウ) 用途別に見た米の価格水準

消費者の購入している米の価格帯（精米10キログラム当たり）を見ると、購入先によって米の価格に大きな違いがあることが分かります（図 - 3 - 8）。

また、前述のように、消費者の低価格志向の強まりを受けて、3,500円/10キログラム未満の米を買う人の割合が増加しており（図 - 1 - 30）、全体の43%を占めていますが、こうした価格はスーパーにおける特売で、コシヒカリ以外の産地品種銘柄の価格として見られるのが実態となっています（表 - 3 - 6）。

表 - 3 - 6 特売の価格帯（精米10kg当たり）

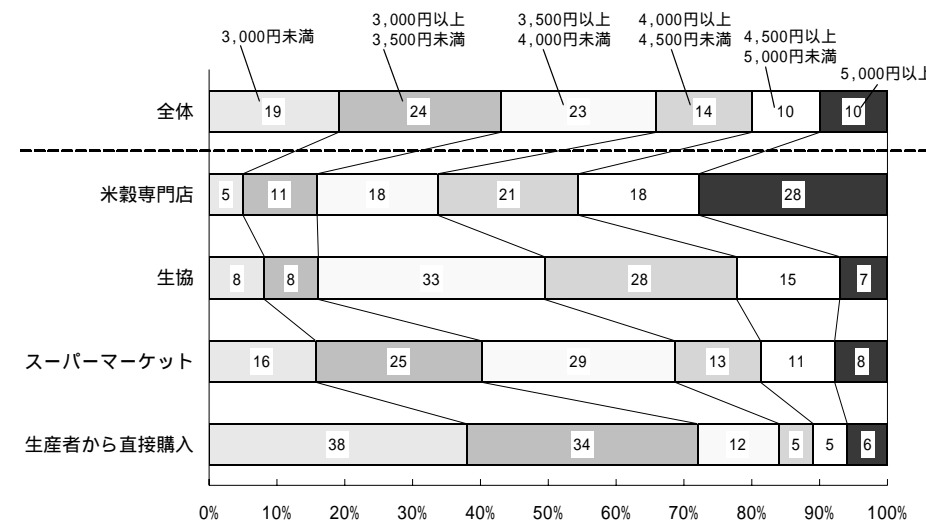
（単位：円/精米10kg）

産地品種銘柄		首都圏	関西圏	(参考) 全国平均価格
北海道	きらら397	3,129～3,864	3,129～3,759	3,948
宮城	ひとめぼれ	3,108～4,368	3,794～4,473	4,541
秋田	あきたこまち	3,318～4,494	3,129～4,368	4,619
新潟	コシヒカリ	3,948～5,124	3,864～5,124	5,312
富山	コシヒカリ	3,948～4,179	3,864～4,368	4,860

資料：食糧庁「米麦等の取引動向調査」

- 注：1) 「首都圏」とは、埼玉県、東京都及び神奈川県、関西圏は、大阪府及び兵庫県である。
 2) 「首都圏」、「関西圏」での価格帯は、平成14年10月～15年4月のスーパー等の価格(包装代・消費税込み)である。
 3) 「全国平均価格」は、14年10月～15年4月の単純平均価格である。

図 - 3 - 8 購入先別の購入価格割合（精米10kg当たり）



資料：食糧庁「食糧モニター調査」(14年9月調査)

注：1) 図 - 1 - 6 の注1)と同じ。

2) 「生産者から直接購入」は親兄弟からの購入を含む。

外食事業者が購入する米の産地品種銘柄、価格帯を見ると、266円/キログラムから585円/キログラムまで、大変幅があることが分かります（表 - 3 - 7 ）。

また、小売価格が、小売業者が消費者に販売する価格であるのに対して、外食事業者の購入価格は、主に卸売業者等が外食事業者販売する価格なので、これらをそのまま比較することは適当ではありませんが、外食事業者の購入価格は、小売価格を1割近く上回るものから、4割程度下回るものまであり、それぞれの事業者の求めるニーズに応じて多様な価格帯が形成されていることが窺われます。

表 - 3 - 7 外食事業者が購入する産地品種銘柄・価格帯

（単位：円/精米1kg）

産地品種銘柄		レストラン・食堂	弁当・仕出屋	[参考値] 小売価格	小売価格 との差	/ ×100
岩 手	ひとめぼれ	346円程度	336～415円	470円	134～ 55円	29～ 12%
宮 城	ひとめぼれ	-	304～392円	451円	147～ 59円	33～ 13%
秋 田	あきたこまち	350～390円	297～382円	459円	162～ 69円	35～ 3%
山 形	はえぬき	-	299～337円	466円	167～ 129円	36～ 28%
福 島	コシヒカリ	335～430円	-	505円	170～ 75円	34～ 15%
茨 城	コシヒカリ	-	330～336円	441円	111～ 105円	25～ 24%
栃 木	コシヒカリ	-	307～360円	445円	138～ 85円	31～ 19%
新 潟	コシヒカリ	-	350～585円	544円	194～41円	36～8%
富 山	コシヒカリ	-	334～378円	486円	152～ 108円	31～ 22%
福 井	コシヒカリ	315～360円	315～456円	460円	145～ 4円	32～ 1%
和歌山	キヌヒカリ	313～400円	294～411円	418円	124～ 7円	30～ 2%
鳥 取	コシヒカリ	-	320～375円	455円	135～ 80円	30～ 18%
島 根	コシヒカリ	-	280～420円	464円	184～ 44円	40～ 9%
熊 本	ヒノヒカリ	307～384円	-	464円	157～ 80円	34～ 17%
大 分	ヒノヒカリ	266～400円	-	425円	159～ 25円	37～ 6%
鹿児島	ヒノヒカリ	350～400円	-	412円	62～ 12円	15～ 3%

資料：食糧庁「外食事業者に対する仕入動向等アンケート調査」（15年5月調査）

- 注：1） 外食事業者462業者を対象とするアンケート調査である。
 2） 外食事業者の仕入価格は、平成15年4月精米1kg当たり聞き取り価格（消費税込み）である。
 3） 小売価格は、食糧庁「米麦等の取引動向調査」における14年産精米の15年4月全国平均価格（包装・消費税込み）を1kg換算したものである。
 4） 小売価格の山形はえぬきについては、山形はえぬき（内陸）の価格である。
 5） 小売価格の福島コシヒカリについては、福島コシヒカリ（中通り）の価格である。
 6） 小売価格の新潟コシヒカリについては、新潟コシヒカリ（一般）の価格である。

加工原材料用米の供給価格は、自主流通米の価格が全体で下落する中で総じて低下しており、用途別に最近の価格を見ると、焼酎用の5,800円～6,000円/60キログラムから、清酒用（もと米）の23,000円～46,000円/60キログラムまで、用途によって大きな開きがあります（表 - 3 - 8 ）。

表 - 3 - 8 加工原材料用米の用途別供給価格

（単位：円/精米60kg）

用 途	平成 8 年産	1 4 年産
清 酒	もと米 32,500円～51,600円 かけ米 16,800円～34,800円	もと米 23,000円～46,000円 かけ米 15,500円～26,900円
焼 酎	6,300円～7,700円	5,800円～6,000円
米 菓 せんべい、あられの原料	うるち米（せんべい用） 7,900円～11,900円 もち米（あられ用） 11,900円～26,400円	うるち米（せんべい用） 6,500円～9,600円 もち米（あられ用） 9,600円～20,200円
米穀粉 だんご、大福などの原料	うるち米（だんご用など） 8,000円～11,900円 もち米（大福用など） 11,900円～26,400円	うるち米（だんご用など） 7,100円～9,600円 もち米（大福用など） 9,600円～20,200円
味 噌	6,300円～11,900円	5,800円～9,600円
加工米飯 冷凍・レトルト米飯など	14,400円～26,200円	13,700円～30,100円
包装もち	11,900円～26,400円	9,600円～20,200円

資料：食糧庁調べ

注：自主流通米、加工用米の他、ミニマム・アクセス米、特定米穀（くず米）も含む価格である。